令和７年度　野田市岩木小学校老人デイサービスセンター指定管理者管理運営状況調書

担当課　　介護支援課

評価基準	評価項目	指定管理者自己評価	担当課評価	特記事項
施設の効用（設置目的）が最大限発揮されるものであること	サービス向上のための取組状況	B	B	
管理経費の縮減が図られるものであること	①指定管理に係る経費の収支見込について	B	B	
	②経費縮減のための取組	B	B	
地元住民の雇用、物品及び役務の調達に際して、地元業者へ配慮すること	地元住民の雇用及び地元業者への配慮	B	B	
事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	人員配置について	B	B	

総合所見

令和 8 年 1 月 21 日に介護支援課長補佐及び担当者が施設を訪問し、指定管理者管理運営状況について確認を行った。

利用者については、令和 7 年 12 月末現在で日常生活総合事業 836 名、介護保険 3,731 名であり、前年度同時期と比較し日常生活総合事業は 176 名の増、介護保険は 209 名の減となっている。増減の要因としては、介護度の重い方が施設入所となったこと、新たな利用者の介護度が軽度の方であったことから、日常生活総合事業の増及び介護保険の減となっている。

収支において、収入決算見込みは 56,194,725 円であり、前年度決 43,110,464 円と比較し 30.4%の増、支出決算見込みは 53,485,168 円で、前年度決 46,445,261 円と比較し 15.2%の増となっている。

収入増の理由としては、利用料金制の取りやめによる指定管理料の見直しに伴う指定管理料の増によるものであり、支出増の理由は主として販管費分の増による。

年度事業の実施状況については、おおむね事業計画に沿って実施されており、利用者が積極的に行事やレクリエーション等に参加している。施設では利用者にアンケートを実施し、希望に沿った行事を行っている。また、岩木小学校老人デ

イサービスセンターの特色である児童との交流を定期的に実施しており、利用者からは好評を得ている。

人員配置については、常勤職員 3 名、非常勤職員 12 名の合計 15 名となっており、職員 15 名中 15 名が野田市在住者である。シフトについては、サービス面において不足のないように職種ごとに資格、経験等を考慮した職員配置を行い、支障のない体制としており、法的配置基準に達している。また、職員のシフトの決定については、前月の 20 日までに希望を伺い、できるだけ希望に沿った対応をしている。

月に 1 回、職員全員によるミーティングを設けており、連絡事項のほか研修やヒヤリハット報告、施設に関する意見交換等を行い、統一意識を持つことに努めている。

施設内は危険なものや事故につながるようなものは一切なく、利用者が生活しやすい環境が整えられており、職員の危機管理・安全管理の成果であると考えられる。また、施設内では職員が利用者をよく見守っており、訪問時にはクイズを実施するなど、利用者がいきいきと楽しみながらサービスを受けている様子が見受けられる。

今後の課題としては、利用者数の確保が挙げられる。北部地域での一般市民向けの講習会実施による認知度の向上、地域包括支援センターや居宅支援事業所への定期的な営業訪問などに努めており、各通所介護事業所が苦戦している中であるが、今年度も微減ではあるものの、前年度と同水準の利用者数となっている。今後も継続して利用者数増の取組に努めてもらいたい。

以上のとおり、事業等は事業計画に沿って行われており、不足と判断されるものはないと判断し、円滑な運営ができているものと考える。